

## ポンベの加熱防止にカバー取付



### ポイント1

夏場のアセチレンボンベと酸素ボンベに必要な事故防止対策です、安全衛生法では**ボンベ表面の加熱温度上限は40度**と定められています。

つまり直射日光にさらされた条件ではすぐに上限を超えてしまいます。

夏場に溶接、溶断作業を行う場合、持ち込まれたボンベは必ず↑のような養生を施されているように確認して下さい。

### ポイント2

ボンベにはいかなる使い方でも転倒防止が必要です。

**なぜ、寝かしてはいけないのか？**

それは、転がるから危ないなどの理由ではなく、アセチレンボンベは内部のアセチレン溶剤の混合比率が定められており、容器を倒すと内部の比率が変わるため、アセチレンの化学的安定性が損われるためです。

**異常燃焼、爆発などの危険が生じます**ので、絶対に転倒防止の指導をして下さい。

写真は専用の台車にボンベがセットされています、これなら移動してもその都度転倒防止の対策をしなくて良いので、最善の方法ですね。